

AOBA



アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 学校案内

AOBA-JAPAN BILINGUAL PRESCHOOL



MISSION

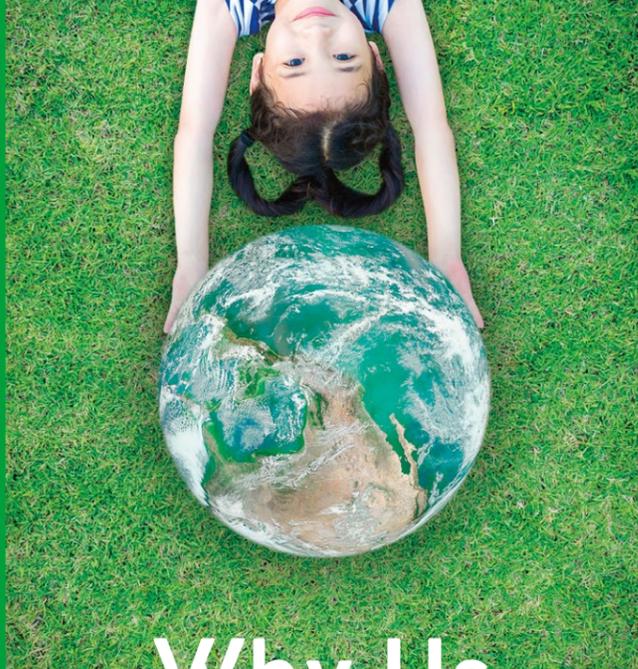
私たちは、グローバルな視座を持ち、思いやりがあり、協力的で、そして学ぶことに深い喜びを感じ、リスクを恐れず新しいことに挑戦し世の中を変えていくことのできる、そうした生徒を育ていくことを信条としています。



VISION

私たちは、安全でサポート的な学習環境の中、生徒たちに厳格に定義・構成された国際教育を提供する一流の教育機関になります。幼い生徒たちの学びのニーズを支援し、生徒一人ひとりのものの見方を歓迎・尊重し、価値観を大切に育てていきます。生徒たちの未来の成功に向け、数多くの学びの機会を惜しみなく提供いたします。





Why Us

アオバジャパン・バイリンガルプリスクールは、「21世紀を担う子どもたちにどのような経験が大切か」という視点から開発した独自のプログラムを提供しています。英語と日本語を通じてなされるそのプログラムの大きな柱は、「全人教育」、「探究型学習」、「一人ひとりの可能性を開花する専門プログラム」です。

全人は「Holistic」の訳で、科目別の知識に偏ることなく、社会に望ましい貢献をするためのスキル・価値観・行動する意思を重視します。当スクールの全人教育では、様々な国際的視点、コミュニティのかかわり、人生体験を豊かにしえる芸術や娯楽、スポーツに触れることなどを通じ、幅広い視野と豊かな人間性を有する人物を育成することを目的とします。

探究型学習は、「Inquiry-Based Learning」の訳で、日本でなじみのある記憶中心の学習の対極にある学習です。記憶中心学習においては、その評価基準は「どれだけ知っているか」です。しかし20世紀と比べ入手可能な情報量が圧倒的に増加した21世紀では、大量の知識を「どれだけ知っているか」はもはや重要ではありません。探究型学習は、大量の知識を記憶することよりも、好奇心をもち、ある事象を深く探究する行為によってこそ、そこで得た概念や知が実社会で活用可能となる、という考えに基づいています。

グローバル社会で活躍できる力を身につける

全人教育 + 探究型学習 = 一人ひとりの可能性の開花

国際バカロレアプログラムを導入

探究型学習+バイリンガル教育で国際的な視野を育む

アオバジャパン・バイリンガルプリスクール(A-JB)は45年を超える歴史を持つアオバジャパン・インターナショナルスクールのグループ校です(以下、アオバグループ)。アオバグループでは「国際的な視野をもつ」ことをねらいとする国際バカロレアを導入しており、A-JBでは国際バカロレアをベースとした「探究型学習」を日英のバイリンガル環境で提供しています。

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムである国際バカロレア(IB: International Baccalaureate)は、1968年にチャレンジに満ちた総合的なカリキュラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し未来へ責任のある行動をとるための態度とスキルを身につけさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。初等教育プログラム

(PYP)、中等教育プログラム(MYP)、ディプロマプログラム(DP)、及びキャリア関連プログラム(CP)の4つで構成されており、A-JBではPYPを提供しています。

IBの大きな特徴の一つである「探究型学習」とは、子どもが好奇心をもって、自ら考え行動することを促す学習となり、知識偏重の詰め込み教育とは異なる学習スタイルになります。さらにIBの教育は多言語を操ることを通じて国際的な視野の発達を促します。これは複数の言語でコミュニケーションや学習を行うことは異文化への理解と敬意を育むというIBの信念に基づいています。

A-JBではこの国際バカロレアの初等教育プログラム(PYP: Primary Years Programme)を通じ、言語、社会、算数、芸術、理科、体育(身体、人格、社会性の発達)の6教科について横断的に教科の枠を超え、バイリンガル環境で学びます。

10の「IBの学習者像」

The IB Learner Profile

子どもたちが成長するにつれ、これらの人物像がより強固に、そして洗練され発展していくことが、より良い、より平和な世界を築くことにつながると考え、10の学習者像を設定しています。



国際的な視野をもつために、
自分で考え、自分の判断で行動する

AOBA × IB PYP

PROGRAM

PROGRAM

PROGRAM

PROGRAM

探究型アプローチ
プライマリー・イヤーズ・プログラム

INQUIRY-BASED APPROACH

PRIMARY YEARS PROGRAMME

自ら問いかけ、考えを広げ、行動する
仲間と学びの成果を共有し、達成感を得ることで
「生涯学び続ける力」を身につけます

国際バカロレアが定める世界共通の6つのテーマの中から、1年間で取り組むテーマを4つ設定します。その年齢にあった、子どもたちがより興味を持てる形で、より具体的な学習の計画を立てます。「どうしてだろう」「どんな仕組みになっているんだろう」という子どもたちの好奇心を大切に、[探究]→[行動]→[振り返り]のサイクルをクラスの仲間と繰り返します。このプロセスを通じて、自分が興味を持ったことについて深く考えていく力、自分の考えや気持ちの効果的な伝え方、問題解決の手順、互いの関係性の築き方や協力の仕方を身につけます。

バイリンガル教育

BILINGUAL PROGRAM

グローバル人材に不可欠な英語
母国語や日本の文化・風習を大切に
両言語の能力を開花

なぜバイリンガルなのか？
国際バカロレアにおいて、国際感覚を持つことの一つの条件として「多言語を操ることができる」ということを掲げています。また、グローバル人材に成長していくということは、まず初めに自身のアイデンティティ・基礎となる言語や文化・風習を習得することから始まると考えています。母国語で成長に合った思考や表現ができること、日本文化や風習のすばらしさを知ることが「おろそかにしないこと」はとても大切なことです。英語はプラスワンのコミュニケーションツールと考え、グローバル人材としての言語習得を目指します。

音楽や運動能力の育成

SPECIAL PROGRAMS

様々な体験を通じて
心と体の成長をサポート
たくましく生きる基礎力を身につける

アート&クラフト、音楽・リトミック、ダンス、体育、水泳など、心と体の発達に応じて、情緒豊かな心と元気な体をつくるための各種プログラムを用意しています。子どもの可能性を伸ばすためには、まず実際に体験することが全ての出発点になると私たちは考えています。共働きのご家庭でお稽古事に通わせる時間的な余裕がない場合でも、基本のお預かり時間内に様々な体験をさせることが可能です。子どもたちは移動の負担なく様々なプログラムを体験することで、個々の好奇心や向上心をもって取り組むようになります。

世界を舞台に生きる力



CREATIVE THINKING
考える力

制作、ラーニングセンター(サイエンス、パズル、ままごと)といった日々の活動やグループワークで、答えの無い世界を生きる21世紀の子どもたちが、自ら考えて何かを作ったり判断したりする機会を積極的に取り入れています。問い自体を自分たちで設定し、深く探究していく習慣は一生懸命学び続けていくための基礎となります。

SELF EXPRESSION
バイリンガル自己表現力

自らの考え・気持ち・作品等を日本語・英語で伝えることができる自己表現力を涵養する機会も、カリキュラム中に多く取り入れられています。日本人が海外の人たちと比べて弱いとされるプレゼンテーションや自己表現していく力といった、未来の国際人の素養として非常に重要な能力を養います。

CORE SKILLS
心技体の基礎力

幼児期の発達段階に応じて、知性・こころ・運動技能をしっかり身につけます。体育、水泳、音楽などの授業を通じて養われる基礎力は、考える力、自己表現力といった力に応用されます。芸術やスポーツに触れることを通じて豊かな人間性を育みます。

世界を舞台に生きる力を養う



子どもたちが 探究学習 事例

自発的に取り組み、表現する力を育む

Theme: Sharing the planet

絵本や映像、遊びを通して、地球について学び、地球の美しさ、それらを守るために人間がしなければいけないことをクラスで話し合いました。自分たちの行動がどのように他の生き物や場所に影響するかを、ゴミやリサイクルと関連づけて考えました。

1 Tuning in



子どもたちから、「ゴミをカメが食べると苦しくなっちゃう」「水が汚れて魚が死んじゃう」などの意見が出ました。



地球と人間がとるべき行動(ゴミ削減、再利用、リサイクルなど)を表すアートを製作しました。

掘り下げる

デザイン画と材料のメモを、自宅に持ち帰り、ご家族と一緒に必要なものを揃えました。

3

CENTRAL IDEA

私たちの判断や行動は環境に影響する

Our choices affect the environment.

どのテーマにおいても、子どもたちがこのセントラルアイデアを理解し、その理解した内容に関して自分なりの考えや意見を持ち、それらを他者に自分の言葉で伝えられることが最終的な目標です。

7



自分が描いたデザイン画をしっかりと確認しながら、製作も子どもが主体的に行いました。出来上がった製作物は、それぞれの子どもの思いが詰まった個性溢れるものばかり。

Digging deeper

2 情報収集

ご家庭とも協働して、身近にあるもののリサイクルマークを見つけて、どんなものを再利用、リサイクルできるかを子ども自身が考えました。

Engaging in information



家庭で普段はゴミとして処分されるものを使って、思い思いのおもちゃを作れることを子ども自身が気がつき「Recycling Project」がスタート。どんなものを、何を使って作りたいかから子ども自らデザインしました。

7



4 Taking action 行動する

作ったものと自分の思いをShow&Tellで、友だちや先生にプレゼンテーションします。

4

探究型アプローチ
PRIMARY YEARS PROGRAMME

本校すべてのキャンパスでは、世界標準のプログラムである国際バカロレア(IB)プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)を導入しています。子どもが主体となって自ら考えて探究したり、ディスカッションしたりする学習スタイルを重視。原則教科書は用いず、子どもが自ら課題を設定し、探究し、質問し、さらにそれらをもとに深く調べ、理解していく、そうした学習者主体の教育を提供しています。全キャンパス、日本語と英語のバイリンガルでPYPを実施しています。

6つのIBカリキュラムテーマ

国際感覚そのものの育成や国際的な視野にたった学びとして、教科ごとで縦割り方式で学ぶのではなく、「教科の枠を越えた」6つのテーマを基に、探究学習を行います。子どもたちは決められた枠にとらわれずに、自分と自分を取り巻く世界との繋がりをその複雑さを体験しながら人間力を高めていきます。

Who we are 私たちは誰なのか	Where we are in place and time 私たちはどのような場所と時代にいるのか	How we express ourselves 私たちはどのように自分を表現するのか
How the world works 世界はどのような仕組みになっているのか	How we organize ourselves 私たちは自分たちをどう組織しているのか	Sharing the planet この地球を共有すること

考える力と学ぶ楽しさを実感



バイリンガル教育
BILINGUAL PROGRAM

人間は3歳までに8割、6歳までに9割の脳が出来上がると言われています。この重要な時期に、英語と日本語の両方を使って学校生活を送ります。これにより、バイリンガルな語学力の基盤を子どもたちは自然と身につけていきます。正しい日本語の習得に加え、毎日の英語教師との時間を通じ、語学吸収力に優れた幼児期に、生涯にわたり役立つ語学力と異文化理解力を身につけていきます。また、ことばの教育やアクティビティを通じて様々な国の文化や習慣に触れることで、国際的な視野を育む最初の一歩になればと考えています。

幼児期に英語に触れる意味

- 1 英語習得の臨界期を逃さない耳と発音の力を伸ばす
- 2 外国人への心理フィルターを下げる
- 3 異文化への興味を引き出せる
- 4 吸収力が高い
- 5 日本語と連動して身につけることができる

世界のどこでもコミュニケーションできる
バイリンガルな語学力の土台をつくる

IB認定校に必要な設備基準の一つであるライブラリーには、日英の絵本や図鑑など、子どもたちの学びをサポートする本がたくさん用意されています。



三鷹キャンパスのライブラリー



中野キャンパスのライブラリー

英語を学ぶのではなく、
日々の生活の中で
英語を通じて人間力を養う

年齢に合わせたプログラム

1・2歳

耳を徹底強化
歌・遊び・語りかけ
日本語の時間と運動

3・4・5歳

午前 / 午後 / 1日
英語イメージンタイム
英語で学校生活を送る

イメージン教育

1、2歳児はおよそ半々、3歳児クラス以降は英語比率を60%以上に引き上げます。また言語環境をイメージン教育[®]にすることで効果的に言語を習得する「バイリンガル教育」を行っています。幼い頃から英語で聞く・話す・読む・書く能力だけでなく、外国語や外国人に対する心理的なフィルターをなくすことで、グローバルな視座や、異文化への興味・理解も自然と深まります。

※イメージン教育とは、Immerse(どっぷりと浸るという意味)の言葉の由来とおり、科目として英語を切り取って学ぶのではなく、英語を学びの言語手段とし、しっかりと英語に浸り、教育することを意味しています。



国際バカロレアに加え、
世界基準の言語プログラムを導入



鍵となる3つの要素



ジョリーフォニックス活用

世界100か国以上の学校で採用されているシンセティックフォニックスという、歌やアクションを通して自然に英語の発音と読み書きが身につく学習法です。子どもたちの興味や感覚をマルチに刺激し、楽しみながら英語の読み書きの大切な基礎を構築するために研究開発されたプログラムです。

未来を生き抜く語学力を育成



音楽や運動能力の育成教育

SPECIAL PROGRAMS

子どもたちの無限の可能性をひらく多彩なプログラム。年齢に合った体の発達や情緒豊かな心を育むため、基本のお預かり時間内で、体育、アート&クラフト、音楽・リトミック、水泳などの各種プログラムをご用意しています。子どもたちは様々なプログラムを体験することで、個々の好奇心や向上心をもって取り組むようになります。

※キャンパスによって一部取り扱いプログラムが異なります。

情緒豊かな心と元気な体をつくる



MUSIC/RHYTHMIC



P.E. (Physical Education)



DANCE



SWIMMING



ART & CRAFT



STEAM & PROGRAMMING

プロの先生による特別なレッスン



音楽・リトミック

MUSIC / RHYTHMIC 1-5歳

乳幼児期には、絶対音感やリズム感の臨界期があるとも言われており、専門の先生から学びます。



体育

P.E. (Physical Education) 2-5歳

走る・飛ぶ・マット・平均台・縄跳び、ボール等の多様な運動技能を養い、体力向上と自信につなげます。



ダンス

DANCE 3-5歳

ダンステクニックを通じ、リズム感、反射神経、表現力を身につけます。



水泳

SWIMMING 4-5歳

生涯楽しめるスポーツである水泳を通じ、心肺機能・持久力を高めます。



アート&クラフト

ART & CRAFT 1-5歳

感覚遊びや手先の細かな作業を身につけます。また様々なツールを使用して創造力豊かに、そして自由に創作活動を行います。



STEAM&プログラミング教育

STEAM & PROGRAMMING 4-5歳

国際バカロレアのカリキュラムに多く含まれるSTEAM教育^{※1}に加え、プログラミングの基礎について学びます。

子どもたちの無限の可能性をひらく多彩なプログラム

Physical Education Director



体育コーチ
中橋 治美 先生

全日本選抜柔道体重別選手権 女子61kg級 優勝(1996年)、世界学生柔道選手権 銀メダル(1994年)、谷亮子選手(2004年アテネ五輪金メダル)のトレーニングパートナー、松本薫(2012年ロンドン五輪金メダル、リオ五輪銅メダル)所属の実業団監督を経て、現在アオバジャパン・バイリンガルプリスクール フィジカルエデュケーションディレクター就任。



※1: STEAM教育とはScience・Technology・Engineering・Art・Mathを指します。

DAILY LIFE

1日の生活



Lunch & Snack

素材の味を生かし、健康を考えたランチとスナックを提供



正しい生活習慣を通じて
心身の健康、挨拶、礼儀、
思いやりの心を育む



Outdoor Play

天気の良い日には、毎日必ず遊びにおでかけ



Reflection Time

一日の振り返りや、帰りのお支度、ご挨拶



SAFE ENVIRONMENT 安全な教育環境づくり

食事は基本的に国産で、素材の味を大事にしたランチとスナックを提供しています。バスにはGPSシステムを搭載、保護者の皆様は運行状況をリアルタイムに把握できます。また、防犯のため、玄関はセキュリティシステムでロックされており、部外者が建物内部に入ることができない仕組みとなっています。



School Bus

遠方から通学する子どもたちには、バスでの送迎を実施



午前/午後もしくは曜日によって、子どもたち同士や先生の使用言語を日本語と英語で切り替えています

K2(2歳児クラス) 日英50%

日本語 英語

	MON	TUE	WED	THU	FRI
8:30	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会	リトミック
9:30	スナック	スナック	スナック	スナック	スナック
10:00	外遊び	外遊び	外遊び	外遊び	外遊び
11:00	ランチ お昼寝	ランチ お昼寝	ランチ お昼寝	ランチ お昼寝	ランチ お昼寝
13:40	アクティビティ	体育	音楽	アクティビティ	アクティビティ
14:20	帰りの時間	帰りの時間	帰りの時間	帰りの時間	帰りの時間

K5(5歳児クラス) 英語比率60%以上

日本語 英語

	MON	MON	WED	THU	FRI
8:45	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会	ラーニングセンター 朝の会
9:30	探究の時間	探究の時間	探究の時間	探究の時間	水泳
11:00	外遊び	外遊び	外遊び	外遊び	水泳
11:45	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ
12:45	探究の時間	体育/リトミック	音楽	ダンス	探究の時間
13:45	読み書き	Show&Tell	帰りの時間	読み書き	Arts&Crafts
14:35	帰りの時間	帰りの時間	帰りの時間	帰りの時間	帰りの時間

※キャンパスによりスケジュールは異なります。

年間行事

EVENT

外国と日本の 両方の文化に触れるイベント

子どもたちが生き生きとスクールライフを過ごし、保護者の方々も子どもたちの成長を実感できる様々な行事を実施しています。



A-JBに入学した理由や、入学後のお子様の様子や変化、これからA-JB・A-JISへ入学される方へのアドバイスなど、保護者の皆様が貴重な体験談を語ってくれました。

VOICE



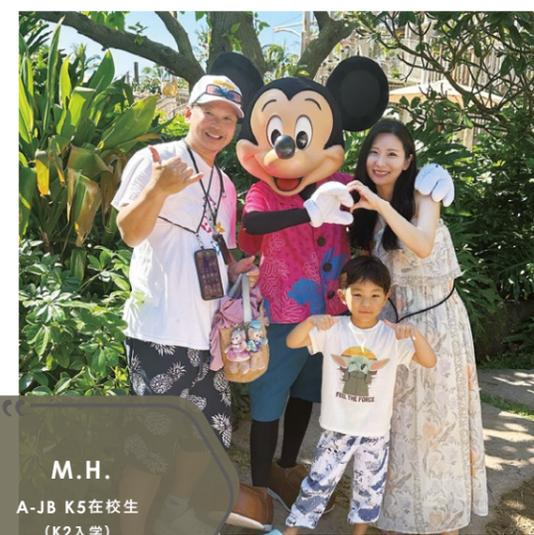
大人が思いも寄らない発想を生み出す主体的な姿に出会えました

所謂ペーパー学習のような詰め込み型の教育ではなく、子ども自身が自ら疑問を持ち、それについて自由に探究できるAOBAのスタイルに惹かれました。子どもたちが大人に指図されることのない自由な空間の中で、社会性や情緒を自然に学べる環境は、思い切り遊ぶのが大切な幼児期の子どもにとって最適だと感じました。先生方が子どもに余計な口出しをせず、見守りながらも適度な距離を保つことを大切にしているのも、我々夫婦の考えとリンクしていました。

Book Dayや、Winter concertなどの特別なイベントももちろんとてもいい思い出ですが、毎日お迎えに行くことも楽しそうにダンスをしてなかなか帰ろうとしなかったり、家でも何か嬉しいことや、新しい発見があると、『明日先生に言っとくね!』とスクールに行くのを楽しみにしている姿が何より印象的です。目をキラキラさせながら、公園で拾ってきたどんぐりや松ぼっくりを私やクラスの子にあげるんだと話さ姿を見て、優しさや情緒が育っていることを実感しました。また、人見知りや引込

み思案だった息子が、A-JBでの生活の中でメキメキと自分の感情や考えを発言できるようになり、沢山の先生方やクラスメイトとのコミュニケーションを楽しめる活発な子へと成長したのは振り返ってみても、大きな収穫だったと感じております。

A-JBでは、大人主導の教育ではなく、子どもたちが主役となって日常の中の不思議なことに触れ、仲間とのコミュニケーションや社会のルールを学んでいきます。どんな過程や結果が出るのかは子どもたち次第なので、大人が思いも寄らない発想を次々に生み出す彼らの主体的な姿に出会えます。『世界は自分たち次第で楽しくも明るくも、どんな風にもできるんだ!』という、大切なメッセージを日々のスクール生活から受け取っているんだと強く感じます。また、その姿から私たち親も、数字では測れない大切なことを沢山学ばせていただいています。『より良く生きるとは何か』『生きるために大切なことは何か』、そんな根幹的なことをこの幼児期に伝えたいという方に、A-JBをお勧めしたいです。



M.H.
A-JB K5在校生
(K2入学)

幼少期から英語に触れさせたいと思い、まずはALAサタデースクールに通い始めました。通常保育とプログラムは違いますが、楽しく通う息子を見てA-JBの探究型学習にも興味があったのでK2から入学しました。

毎年ウィンターコンサートで演劇があります。K5になると、自分たちでストーリーを考え、どんな役をやるのか、どんなセリフがいいのか、とディスカッションしていました。自分たちで決めたことにより、役に対して責任感を持ち、たくさん練習を重ねて舞台上に立つ姿には、成長を感じるとともに立派だなと感動いたしました。

苦手だった英語もどんどん好きに! 自ら考えたことを 発信する力が身につきました

芝浦キャンパスでは、少人数だからこそ目配り気配りをしていただけで、個々の個性を把握してくれ、個人の思いを尊重してくれたので、精神的に満たされ、自信をもち、意欲的な心を育むことができました。息子は英語が苦手でしたが、息子のペースに合わせて教えてくれたり、話せる言葉が増えると共に喜んでくれたので、苦手だった英語もどんどん好きになり、力も身についたと大いに感じることができました。身体面では日常の公園遊びに加えて、スイミング、P.E.、空手と、プロの講師に教えてもらったので運動能力も鍛えることができました。また、日々の学習は国際バカロレア(IB)カリキュラムに基づき「全人教育」と「探究型学習」を柱としPYPをバイリンガルで学習しています。学習と連動したイベントもあり、郊外学習へ出かけたり、時にはバジャマパーティをしたりと子どもたちにとって、机の上だけで学ぶのではなく、体験を通して、学び、振り返りを行い、クラスメイトの前でshow&tellをするので、プレゼンテーション能力に加えて、自ら考えたことを発言する力が身についたと思います。そして自身の知恵となり、お友達の話しを聞くことで、多様性を理解することもできました。大切な幼児期をこのように過ごせたことは、息子にとって生きる土台ができたと思います。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。



Y.K.
A-JB K3在校生
(K2入学)

IBの探究テーマを通じて 楽しみながら理解し 成長する姿が印象的です

答えのない21世紀を生き抜く力として国際バカロレア(IB)が効果的ではないかと思いつ、本格的なIBを求めると、今はまだインターナショナルスクールに絞られ完全な英語教育が前提になってきます。日本人同士の子どもの生れた我が子が、日本人としてのアイデンティティを形成できるのか、ルーツを失わないか、不安を感じていました。しかしA-JBでは日本語と英語はほぼ同じ頻度で授業があり、日本文化も外国文化も積極的にイベントに取り入れられていることを知り、そのバランスの良さに魅力を感じて入学を決めました。

A-JBでの印象的だった思い出は2つあります。
1つ目は、多くの先生が「教員」以外のプロの顔を持っていることです。ヨガ講師、アーティスト、看護師など、何らかのプロフェッショナルである先生が多く在籍しており、娘が絵の表現力や筋肉の使い方など、本質的なことを学んで帰ってきた日の衝撃は忘れられません。

2つ目は、3・4か月ごとに取り組む探究テーマで成長していく娘の姿でした。テーマ「私たちはどのような場所と時代にいるのか」では遠方のキャンパスの生徒とお手紙交換をしたことで世界の繋がりを不思議がりながら楽しみ、テーマ「世界はどのような仕組みになっているのか」では散歩から戻ると学校の水が出なくなっているという事件を経て水の大切さや分け合う大切さを理解したようでした(実は先生が栓を止めていました)。どちらもA-JBならではの良い思い出です。



R.S.
A-JB K4在校生(K3入学)

探究型の教育を希望する方、幼児期のうちに英語のリスニング力を高めたい方、英語だけのインターナショナルスクールには躊躇する方は、一度A-JBを見学することをお勧めいたします。HPや説明会等だけではなく、先生方と話したり、子どもたちとどのように接しているかを見たりすると、理念や教育方針が現場の実践にきちんと落とし込まれているのか、検証できると思います。

異なる意見を否定せず、 相手を尊重するようになりました

子どもが1歳を迎えた頃、復職を考えるとともに子どもが大切な幼少期に過ごす環境についても考えながら保育園探しをしていく中で、A-JBに出会いました。

入学の決め手となった点は、日本語と英語双方に触れられる「バイリンガルスクール」であることと「探究型学習」を取り入れていることです。言葉をどんどん覚えていくK1から英語に日常的に触れる機会を作れることは、英語の習得という点では勿論のこと日本語教員・英語教員が共に担任となるスクール環境により、言語による壁を作らない考えを持ってくれるのではないかと期待できることに魅力を感じました。また、「探究型学習」は、所謂日本の教育(記憶型学習)をベースに育った私共にとっては新鮮でも興味深いものでした。A-JBのIBに基づいたカリキュラムによって、好奇心が旺盛で吸収力も高い幼少期に子ども自身が興味を持ったものを探究する楽しさ知り、課題を見つける力や自ら考えて解決しようとする力を少しでも身につけてもらえたらという思いで入学を決めました。

スクールでは様々なイベントが企画されており、その一つ一つが良い思い出ですが、K3から行われているShow and Tellは、親子共に良い思い出です。最初はなかなか発表することに慣れず消極的でしたが、卒業前にはShow and Tellをすることが大好きになりました。お友達の発表を聞くことで新たな発見ができることや、またお友達に伝えたいことをシェアできることが楽しいと話していたのは印象的です。A-JB生活の中でとても良い経験だったことだと思っています。

長女は、現在A-JBを卒業し公立校に通っています。学校生活の中で英語に触れる機会は殆どなくなってしまいましたが、幼少期に楽しく英語を習得できていたため、興味は薄れることなく好きな学習の一つとして、オンラインレッスンや英検への挑戦を続けてくれています。また、A-JBでは特にK4、K5の頃のPYPカリキュラムの中で、提示される大きなテーマの中で課題を見つけ、様々なツールで調べたり実際に試したり、また、お友達と意見交換をしながら違う意見も受け入れながらひとつに纏めていくことを沢山経験できました。もともとは内気な性格の子でしたが、A-JBでの経験を活かし小学校進学後も、授業で自分の意見を書く・発表することを臆することなくできているようです。また、在学時には気が付くことができませんでしたが、学校でのお友達との関係について話を聞いていると、自分と違う意見を持つことは当たり前であり、否定しない、違うことも尊重するという考えが身につけているように感じる事が多く、PYP活動の経験から得たものだと感じしており、嬉しく思っています。

A-JBに6年程お世話になっていますが、子どもたちはスクールに行きたくないと言ったことはありません。子どもたちの好奇心や意見に沿って「みんなで遊び、学びに繋げる」機会をたくさん与えてくれる場所です。どんなお子様でも楽しく充実した日々が過ごせると思います。

E.K.
A-JB K4在校生
(K1入学)

L.K.
A-JB卒業生(K1入学)
現在公立小学校1年生

A-JB has both the educational level of a private preschool and the softness of a nursery school

Honestly, when Ryutaro chose a kindergarten, we did hesitate. Private kindergartens are too strict, and nursery schools are too loose, which are not what we want. A-JB provides us with a perfect solution. A-JB has both the educational level of a private preschool and the softness of a nursery school.

Secondly, A-JB is a bilingual preschool. Exposure to English in early childhood is very helpful for children's language learning.

Thirdly, there are a variety of After school programs to choose from in A-JB's EC time, which not only allows children to experience different courses, but also reduces the burden of parents.

What impresses me the most may be the educational content of PYP. The educational content of PYP helps children open a window to the world, allowing them to learn about different countries, different cultures, and different lives. Ryutaro and Kanako also often took home some of their crafts, which showed their understanding of the learning at school. I think PYP's study will help to the formation of their future world outlook.

Ryutaro has been studying at A-JIS for 7 months, and he has fully adapted to the life of an elementary school.

In terms of learning, his spoken and written English has also made great leaps. At the same time, A-JIS attaches great importance to the study of Japanese. In P.E. classes, there are a variety of sports, and now Ryutaro has experienced gymnastics, football, baseball, swimming, and rope skipping, etc.

The campus life of A-JIS is very exciting, and some activities are often held, and Ryutaro also enjoys participating in it.

In fact, the reason why we choose A-JIS to study is very simple. It is because Ryutaro said that he likes A-JB, and he is very happy every day in A-JB. If learning is difficult, it is better to help children choose a way to learn in happiness.



R.O.
A-JB 卒業生(K3入学)
現在A-JIS G1在籍

K.O.
A-JB K3在校生
(K2入学)

Very pleased with the balanced ability of English and Japanese

We chose A-JB because we wanted a bilingual learning environment to match our bilingual family. Having two teachers, one specializing in English and one specializing in Japanese, really creates a great environment for Rei, and also for us parents who want to communicate well with the teachers.

Watching Rei enthusiastically dance and sing together with his classmates during the performances is always a joy to see.

Our message to parents considering A-JB is that we are very pleased with Rei's balanced ability of English and Japanese.

R.L.
A-JB K3在校生
(K1入学)





100% 英語環境で グローバルシチズンとしての 素養を育む



基本保育時間は100%英語の環境。英語で考え、英語で話す。英語での思考力や表現力を養う環境が整備されています。

インターナショナルスクールへの進学に備え「聞く」「話す」に加え「読む」「書く」の4技能の育成に取り組みます。

スペシャルプログラム

年齢にあった成長や発達を促し、情緒豊かな心を育みます。

New

インターナショナルスクール
進学希望者向けクラス

AOBA BRIDGE PROGRAM

A-JB卒業後も国際教育の継続を希望する子どもたちやご家庭のニーズに応え、100%英語の環境で保育・教育を行います。聞く・話すだけでなく、読む・書くを含む4技能の強化を行い、思考力(Creative Thinking)、表現力(Self Expression)、社会性や情緒の豊かさ(Social Skills & Emotional Development)など様々な領域において、グローバル社会で活躍するための力を身につけます。

※中野キャンパスと三鷹キャンパスのみ導入しています。

基礎となる4技能の強化



聞く
Listening



話す
Speaking



読む
Reading



書く
Writing

国際教育の継続の架け橋

Aoba Bridge Program (ABP) -Nakano-



基本プログラム
国際バカロレア

1968年に設立された世界標準のプログラム。ABPでは3歳から12歳の年齢が学ぶプライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)を採用。100%英語環境での探究型学習、全人教育を通じて、世界を舞台に生きる力を培う。

採用キャンパス
中野キャンパス 2023年9月から開講

Musashi International Course (MIC)



基本プログラム
Early Years Foundation Stage (EYFS)

イギリスの義務教育就学前児童のための教育基準。プレイベースとアカデミックを組み合わせた100%英語でのプリスクールカリキュラム。グループ校MIST初等部への進学を前提としたコース。

採用キャンパス
三鷹キャンパス 2023年9月から開講

2 種類
の
国際基準の
コース

スペシャルプログラム | 延長保育(バイリンガルと合同保育) | 認可外保育施設(証明書交付済み)



アフタースクールプログラム

After School Programs



送迎負担を解消! ワンストップで習い事に挑戦!

延長保育時間に受講する
プロ講師による特別なレッスン

延長保育時間の中で行う、希望者向けのオプションプログラム。3歳児クラス以上を対象に、プロの講師が教えるバラエティ豊かなプログラムを用意しています。子どもたちにとっても移動のストレスがないほか、保護者も送迎の負担が少なく、平日に様々な習い事に取り組めることで、週末はゆっくり過ごすことができるなどご好評いただいております。



プログラミング Powered by STEM ON

STEMON
STEAM領域に親しみを持たせることで、好奇心が育まれます。ブロックやプログラミング教材を使って、数や図形への興味を養います。



体操 (リトルアスリート) ARC

ARC アール・ク
走る・飛ぶ・マット・平均台・縄跳び、ボール等の多様な運動技能を養い、体力向上と自信につなげます。



空手 極真会館

護身術としての空手を体得するだけでなく、礼儀作法や忍耐力も養います。



小学校受験基本クラス こぐま会

子どもたちが自然と理解に達することを重視しながら、ひらめきと思考力を育みます。



バレエ ballet

身体を動かすことはもちろん、礼儀作法や芸術的な観点を養い、自己表現力を育みます。

※上記プログラムは一例です。キャンパスによって導入プログラムは異なります。

ALAサタデープログラム

ALA Saturday Program



土曜日は、英語のシャワーをたっぷり浴びる!

アクションを通じて、英語を学ぶ!
インタラクティブな学びのスタイル

アオバグループ各キャンパスで年間40回、土曜日に開催する「アクションしながら楽しく英語を学ぶ」100%英語環境での学習プログラムです。テキストとベンが中心の塾などは異なり、インタラクティブ・ディスプレイを用い、頭と体を動かすことで、最も効率的に楽しく英語力と国際感覚を身につけることができます。



AOBAオリジナル教材

週1回英語を学習する子どもたちに合わせ、英語に慣れ親しむだけでなく、4技能をしっかりと伸ばすことを目標に、ALAの先生が開発したAOBAオリジナル教材。デジタルデバイスも使用し、子どもたちが楽しく英語を学べる教材や環境をご用意しています。



年齢と英語習熟度別5つのコース

初心者 満2歳~3歳	LK	初心者 満3歳~4歳	IEN	初心者~初級者 満4歳~	IE1	初級者~中級者 ~小学3年生	IE2	中上級者 ~小学3年生	IE3
Little Kinder		Interactive English Nursery		Interactive English Level 1		Interactive English Level 2		Interactive English Level 3	

AOBA アオバアクションラーニング・アカデミー
ACTION LEARNING ACADEMY

対象 在校生、外部生、卒業生
※年齢はその年度の4月2日時点です。
※プログラム内容はキャンパスにより異なります。

ALAサタデープログラムの
体験・入会・お問合せはホームページより
<https://aoba-bilingual.jp/ala/>





親子で一緒に英語で学ぼう!

マミー&ミー

Mommy & Me

定期的に行われる1歳児から2歳児向けの親子参加型プログラム。母子分離前のお子様も、お母さんやお父さんと一緒なので安心してご参加いただけます。100%英語環境でお子様の興味・関心を刺激する様々な楽しい探究アクティビティをご用意しております。

1-2歳児向け! 100%英語環境 親子参加型スクール体験プログラム

参考スケジュール

Time/時間	Activity/ 活動内容
9:00-9:05	Morning greetings / はじまりの挨拶
9:05-9:20	Morning circle time / サークルタイム
9:20-9:40	Activity / アクティビティ
9:40-9:45	Closing circle time/ サークルタイム&終了

※プログラム内容はキャンパスにより異なります。



五感で楽しめる、盛りだくさんの45分

朝のサークルタイムから始まり、歌・ダンス、ゲームやクラフトと体をたくさん動かしながら、45分間自然に英語と触れあえます。100%英語環境で、英語に興味をもつきっかけとなる全10回*のショートプログラムです。



MOMMY&Me

対象 外部生

※プログラム内容はキャンパスにより異なります。

Mommy & Meのお申込み・お問い合わせは
ホームページより

<https://aoba-bilingual.jp/mommy-me/>



休みを活かして、探究型学習を体験しよう!

シーズナルプログラム

Seasonal Program

夏休み・冬休み・春休みに開催される1~2週間の短期プログラム「シーズナルプログラム」は、日頃からキャンパスに通っている内部生のみならず、通っていない外部生も参加可能です。英語100%の環境に浸りながら、ワクワクするようなテーマを、探究ベースの学びを通じて掘り下げます。インタラクティブで発達段階に合わせたアクティビティは、子どもたちの創造性や考える力を育て、学ぶことを心から楽しむ体験を提供します。



WINTER PROGRAM 

例年12月下旬に開催しています。

SPRING PROGRAM 

例年3月下旬に開催しています。

SUMMER PROGRAM 

例年8月中旬に開催しています。

Seasonal Programの体験・入会・お問い合わせは
ホームページより

対象 在校生、外部生

※プログラム内容はキャンパスにより異なります。

Seasonal Program

Seasonal Programの体験・入会・お問い合わせは
ホームページより

<https://aoba-bilingual.jp/seasonalprogram/>





国際社会において 豊かな人生を切り開く力を

私たちアオバジャパン・インターナショナルスクールグループは、国際社会で活躍する人、自らの意思で人生を歩む人の育成を目指し、日々情熱を持って教育に取り組んでいます。現代社会は、インターネットやIoTの普及などにより、どこにいても世界とコネクできる時代になろうとしています。そうした社会では、英語を含めたコミュニケーション能力と、多様性を受け入れる国際感覚や共感性、論理的思考力、リーダーシップなどがますます求められるようになります。私たちグループは、こうした素養を1歳から18歳までの長期間をかけて、自然な形で習得することが重要

だと考えています。そのために、教育の世界標準の一つである国際バカロレア・カリキュラムを全キャンパスに導入し、バイリンガル環境(日・英)で提供しています。他方、大切なお子様をお預かりする教育機関として、保護者の皆様が安心してお子様を預けることができるよう、保育/知育/食育/体育等の全てにおいて、安心・安全を第一にスクールを運営しています。幼少期にあるお子様が社会に出て活躍するのは、今から20年後です。我々は常に20年先を見据え、20年後の社会で何が必要となるかを考えながら、教育の開発や質の向上に取り組んでまいります。

国際バカロレア (IB) を導入する AOBA グループでは、 大学進学年齢まで IB の一貫教育を受けることが可能です

AOBAグループ(運営:株式会社アオバインターナショナルエデュケーションシステムズ)は、東京都内11か所でインターナショナルスクール、バイリンガルプリスクールの運営をしています。AOBAグループ内における国際バカロレア (IB) の正式認定校数^{*1}は9拠点となり、日本でも最大規模となります。国際バカロレア (IB) のPYP, MYP, DPにおいて認定を受けており、1歳児から入学可能な認可外保育施設をはじめ、大学進学年齢までIBの一貫教育を受けることが可能です。また、アオバジャパン・インターナショナルスクール (A-JIS) はCIS認定校^{*2}となっており、進路においては海外の大学はもちろんのこと、日本国内の大学進学も視野に入れることが可能です。



^{*1} International Baccalaureate World School <https://www.ibo.org/become-an-ib-school/> ^{*2} <https://www.cois.org>

ご挨拶

Message

アオバジャパン・
バイリンガルプリスクール
理事長
柴田 巖

京都大学 (工学修士)、London School of Economics (MSc)、Kellogg Graduate School of Management (MBA) 卒。 ㈱ Aoba-BBT (東証一部) 代表取締役社長、 ㈱ アオバインターナショナルエデュケーションシステムズ代表取締役社長。

スクールと保護者が一体となって 子どもの成長を支え、未来への可能性を広げる

アオバジャパン・バイリンガル・プリスクール (A-JB) では、21世紀に成功するために必要となる経験をお子様に提供することを第一に考えています。国際バカロレア (IB) プログラムは、お子様の心と自立を育み、彼らが急速に変化する世界におけるさまざまなチャレンジに備えられるようにします。スクールでは日本語と英語のバイリンガル環境の中で、探究型の学習と総合的な教育を推進しています。国際的な視野を持ち、グローバル社会に積極的に参加できるお子様の育成を目指しています。

IBプログラムをカリキュラムの中核に据え、複雑に関わり合う国際社会で活躍するためのスキルと知識を身につけます。当校の教育スタッフは、知識、技術、思いやりがあり、お子様の幸福を第一に考える人々です。お子様の向学心を高め、興味や情熱の探検を促すような温かい雰囲気づくりに、たゆまぬ努力を惜しみません。是非A-JBにご入学いただき、お子様に世界レベルの教育と成功に必要なサポートを提供をご検討ください。

At Aoba-Japan Bilingual Preschool (A-JB), we prioritize providing children with essential experiences for success in the 21st century. Our International Baccalaureate (IB) program develops your child's mind and independence, preparing them for the challenges of a rapidly changing world.

We offer a bilingual environment in Japanese and English, promoting inquiry-based learning and a comprehensive education. We aim to nurture your child's ability to actively participate in a global society with an international perspective. With the IB program, we equip your child with the skills and knowledge to thrive in a complex, interconnected world.

Also our educators are committed to providing your child with the best learning experience. They are knowledgeable, skilled, caring, and compassionate individuals who prioritize your child's well-being. They work tirelessly to create a warm atmosphere that ignites a love of learning and encourages exploration of interests and passions.

Join us at A-JB and give your child a world-class education and the support they need to succeed.

アオバジャパン・インターナショナルスクール

AOBA-JAPAN INTERNATIONAL SCHOOL



目黒キャンパス
(幼稚園部)

〒153-0042
東京都目黒区青葉台2-11-5
TEL 03-4520-2313

光が丘キャンパス
(幼稚園部・初等部・中等部)

〒179-0072
東京都練馬区光が丘7-5-1
TEL 03-4578-8832

文京キャンパス
(高等部)

〒113-0021
東京都文京区本駒込6-18-23
TEL 03-4560-3422



www.aobajapan.jp



サマーヒルインターナショナルスクール

SUMMERHILL INTERNATIONAL SCHOOL



東京都港区麻布エリアにおいて通算50年以上の歴史をもつインターナショナルスクール。1歳から6歳までを対象に英語によるグローバル教育に早くから取り組んでいます。その教育理念である「Play-based Learning (遊びの中から学ぶ)」に基づき、20カ国以上の国籍の生徒が集う国際的でありながらも、人間味溢れるアット・ホームな環境下で、英語・他の語学教育や世界の文化体験等に加え、知育・体育・情操教育等バランスのとれたカリキュラムを提供。グローバルマインドを持つバランスのとれた人材の育成を目指している。

国際バカロレアPYP認定校
対象年齢 = 15か月〜6歳



<https://summerhill.jp>

ムサシインターナショナルスクール・トウキョウ

MUSASHI INTERNATIONAL SCHOOL TOKYO



2002年に設立された東京都三鷹市にあるMusashi International School Tokyo (MIST) は、日本でまだ4校しかない、小学校から高校に至るまでケンブリッジ国際認定を受けているケンブリッジ国際認定一貫校です。3歳〜5歳の幼児部は、Early Years Foundation Stageに基づき、プレイベースとアカデミックを組み合わせた100%英語でのプリスクールカリキュラムを実施しています。私達は良心的な授業料で高品質な国際教育を提供し、生徒を意欲的で生涯にわたる学習者に育てることを約束します。

ケンブリッジ国際認定校
対象年齢 = 2歳〜高校3年生



<https://mist.school>



アオバジャパン・
インターナショナルスクール
学園長

Jake Madden (博士)

オーストラリア出身。初等教育の学位を取得後、20年にわたるオーストラリア全土で7校の校長を務める。博士課程において特に教師の能力開発や教師とリーダーシップの関係性について研究。著書6冊、論文も多数執筆。その貢献が認められオーストラリア教育指導協議会 (Australian Council of Educational Leaders) からフェローシップを授与された。2019年12月にはGlobal Forum for Education and Learningから教育界のトップ100リーダーに選出される。2023年8月よりアオバジャパン・インターナショナルスクール学園長に就任。



アオバジャパン・インターナショナルスクール (以下A-JIS) は、特定の宗教を持たない共学のインターナショナルスクールとして1976年に目黒区青葉台で開校しました。現在は目黒区青葉台 (1歳半〜6歳 | K2-K5)、練馬区光が丘 (3歳〜15歳 | K3-K5-G1-G9) と文京区本駒込 (15歳〜18歳 | G10-G12) の三つの校舎で、40か国以上の国・地域から集まった約450名の生徒がともに学んでいます。もともとA-JISの強みであった英語教育および日本語/日本文化教育に加え、2016年A-JISは国際バカロレア (IB) のPYP (幼稚園/小学校相当)、MYP (中学校相当)、DP (高校相当) の全認定を取得し、国内5校目となる一貫校としてIBワールドスクールの一員となりました。卒業生は日本の大学も含む、世界中の大学へと進学しています。



AOBA-JAPAN BILINGUAL PRESCHOOL

国際バカロレア プライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) 認定校



晴海キャンパス

〒104-0053 東京都中央区晴海1-8-2

晴海トリトンスクエア 2F

TEL 03-6228-1811

対象年齢 1~5歳児

開校時間 7:30~19:30



早稲田キャンパス

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-14-8

千代田ビル2号館

TEL 03-6385-2818

対象年齢 1~5歳児

開校時間 8:00~18:00



三鷹キャンパス

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-15-41

TEL 0422-29-8977

対象年齢 1~5歳児

開校時間 7:30~18:30



中野キャンパス

〒164-0014 東京都中野区南台3-6-17

クリスタルコート88内 イマス中野南台2階

TEL 03-6380-3218

対象年齢 1~5歳児

開校時間 8:10~18:00



下目黒キャンパス

〒153-0064 東京都目黒区下目黒5-29-6

TEL 03-5734-1640

対象年齢 2~5歳児

開校時間 8:10~18:30



国際バカロレア PYP 候補校

用賀キャンパス

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-4-18

コリーヌ馬事公苑A棟 3F

TEL 03-6413-6150

対象年齢 1~5歳児

開校時間 8:10~18:30



International Baccalaureate® (IB) Primary Years Programme (PYP) Candidate School

Aoba-Japan Bilingual Preschool Yoga Campus is a candidate school* for the PYP. This school is pursuing authorization as an IB World School. IB World Schools share a common philosophy- a commitment to high-quality, challenging, international education- that we believe is important for our students. * Only schools authorized by the IB Organization can offer any of its four academic programmes: the Primary Years Programme (PYP), the Middle Years Programme (MYP), the Diploma Programme (DP), or the Career-related Programme (CP). Candidate status gives no guarantee that authorization will be granted. For further information about the IB and its programmes visit <http://www.ibo.org>

グループ校



アオバジャパン・インターナショナルスクール (A-JIS)

国際バカロレアPYP・MYP・DP認定校 / CIS、NEASC認証取得

対象年齢 1歳半~高校3年生



サマーヒルインターナショナルスクール

国際バカロレアPYP認定校

対象年齢 15か月~6歳



ムサシインターナショナルスクール・トウキョウ (MIST)

ケンブリッジ国際認定校

対象年齢 2歳~高校3年生

加盟団体



COUNCIL OF INTERNATIONAL SCHOOL

アオバジャパン・インターナショナルスクール (A-JIS) は、CIS認定校です。



Tokyo Association of International Preschools

AOBAグループ各校は、TaiPの登録メンバーです。

運営 株式会社アオバインターナショナルエデュケーションシステムズ

開校時間は延長保育時間を含みます。詳細は各キャンパスまでお問い合わせください。

<https://aoba-bilingual.jp/>

